

じどうかんだより

2012. 10. 15発行

11月の行事予定



だいぶ朝夜が涼しくなってきたね。

第2週の土日は、中央公園で

「ふるさとまつり」が行われるよ！

児童館のすぐそばだから、

一緒に楽しんじゃおう！

だいごう 第20号
はっこう はしりつじどうかん
発行：萩市立児童館
ところ：〒758-0041
はぎしおおあぎあむかい ばんち
萩市大字江向552番地2
Tel：0838(25)1025
Fax：0838(25)1033

しちごさん がつ にち
七五三 (11月15日)



記号の説明：♪だんすダンス ★子育てアドバイス 本おはなしの森 ☺おひさま

日	月	火	水	木	金	土
				1 ピヨピヨ ★	2 	3 子育て応援講座 ★ ☺
4	5 ♪ ★	6 きゅうかんび 休館日	7 ♪	8 ★	9 	10 (ふるさとまつり) ★ ☺
11 (ふるさとまつり)	12 ♪ ★	13 きゅうかんび 休館日	14 ♪	15 ピヨピヨ ★	16 	17 いも 芋きんとんづくり みんなでミュージック ★ ☺
18	19 ♪ ★	20 きゅうかんび 休館日	21 ♪	22 子育て相談 ★	23 	24 ★ ☺
25	26 ♪ ★	27 きゅうかんび 休館日	28 ♪	29 ★	30	

ピヨピヨ
みしゅうえんじ ほごしゃ つど
未就園児と保護者の集い

11月1日(木)「おはなしの世界」
11月15日(木)「秋を楽しもう」

10:30~11:30
場所：集会室、創作活動・多目的室

参加費：無料

子育て相談
子どもの発達や育児の
悩みについて相談を
受け付けます。

11月22日(木)
10:30~11:30
斉藤助産院の沖野雅代
さんが来られます。

みんなで
ミュージック
「音」を「楽」しむ<音楽>を
みんなで奏でよう♪

11月17日(土)
13:30~15:00
場所：スタジオ
内容：トーンチャイムを使って
曲の演奏ほか
申込締切11月14日(水)

芋きんとんづくり
秋の味覚「さつまいも」を使って
あま〜い「芋きんとん」をつくろう！！

日時：11月17日(土) 10:00~12:00
場所：集会室、創作活動・多目的室
対象：小学生以上(幼児は保護者同伴)
定員：30名(申し込み必要)
参加費：100円(材料代)
持ってくるもの：エプロン、三角巾、お茶

子育て応援講座
「子どもの体力や脳力を育む
遊びの力」

講師：天野秀昭氏
(大正大学人間学部特命教授)

日時：11月3日(土) 10:30~11:30
対象：子育てに関心のある方
子育て中の方
定員：30名程度(事前申し込み必要)
※託児もあります。
お気軽にご参加ください。

入場無料

毎月の定例プログラム

おはなしの森
毎月・金曜日
11:00~11:30
対象：未就園児・保護者

だんすダンス！
毎月・水曜日
19:00~20:30
体力増進室
参加費：無料
みんなとっしょに、
楽しくダンス！

子育てアドバイス
毎月・木曜日 10:00~15:00
毎月土曜日 10:00~18:00
ゆうぎ室
アドバイザーや保護者と
一緒に子育ての話や、
悩みを話し合い
ませんか？

12月の予定

- ピヨピヨ「クリスマスオナメント作り」
12月6日(木)
- ピヨピヨ「クリスマス会」
12月20日(木)
- 子育て相談
12月27日(木)
- みんなでミュージック
12月15日(土)
- クリスマスアレンジメント
12月1日(土)

9月の様子

ピヨピヨ 9月6日『水あそび』

まだまだ暑い日差しの下、元気いっぱい遊んだよ！



濡れても
すぐに乾くよ～

9月20日『創作あそび』

小麦粉粘土や芋版など、「創る」遊びを楽しんだよ！



それぞれお気に入りの
コーナーで遊んでいたよ！

9月15日『みんなでミュージック』

久々にスタジオの外で練習したよ。そろそろクリスマスに向けて練習が始まるかな？



ちょこっと
音楽のお勉強♪

9月29日『お月見をしよう!!』

当日は台風の接近でお月さまは見えなかったけど、月の絵本やお団子、月のお話を聴いたりして楽しんだよ☆

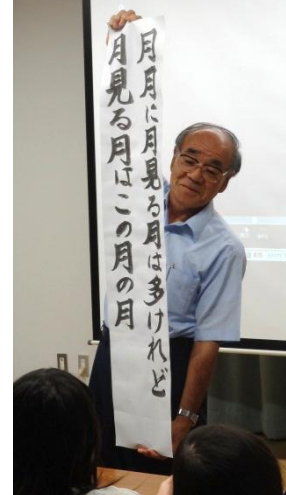
お団子の準備は、児童館のPR大使「ハッピーガールズ」のメンバーも準備をしたよ！



～草の芽さんの読み聞かせ～



～天文同好会さんの月のおはなし～



日本はうさぎだけど、海外だとライオンや横顔の女性などと言われているよ☆

きなこみたらしを
用意したよ！



9月26日『移動児童館（須佐）』

須佐の育児相談におじゃましました！
乳児さん中心の手遊びや、歌遊び、親子マッサージなどをしました♪



子育て相談の相談内容 ～6件～

- ・夜間の授乳について
- ・トイレトレーニングについて
- ・発育の悩み、体重測定

知ろう

プレーパーク

その5 日本の冒険遊び場の歴史
日本ではいつ、どうしてできたの？

日本に冒険遊び場が生まれたのは、当時世田谷区に住んでいた大村夫妻の「わが子の遊び環境は自分たちの子ども時代とは違っている。わが子にもあの遊びの世界を体験

させてあげたい。」という想いからでした。都市計画の仕事をしていた大村さんは1970年、海外視察の旅の中で『PLANNING FOR PLAY』という本に出会いました。この本には、自分たちで木材を使って基地を築き、動物小屋を作っはその世話をし、大きな水たまりにつかり、火をたいてパンを焼くなどヨーロッパの冒険遊び場で元気に遊ぶ子どもたちの姿が数多く紹介されていました。その後、夫妻はこの本を翻訳することになり、1973年に『都市の遊び場』として出版されました。



(羽根木プレーパークの様子)



本は予想以上の反響を受け、大村夫妻は実際に本で紹介されていたスウェーデン、イギリス、デンマーク、スイス、オランダの遊び場を訪ねました。日本に帰って夫妻はヨーロッパで撮ってきたスライドを地域の人たちに見せました。夫妻と同じく戦後貧しい中で遊びの世界を満喫して育った地域の人たちは、スライドを見て「自分たちもこんな遊び場をつくって子どもたちに楽しい体験をさせよう。」

と、ボランティア活動団体『あそぼう会』を立ち上げ、地域住民による空き地を借用しての冒険遊び場を始めました。

そして1979年、行政と市民による共同運営で世田谷区の国際児童年記念事業として日本発の常設の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」が誕生しました。

次回からは「日本のプレーパークのようす」をお知らせします。

なあくんのつぶやき

日に日に明るい時間が短くなってきたね。
急に寒くなったりする時期になったので、
風邪をひかないように気を付けよう。

ハロウィンでは、オリジナル衣装をつくる材料や小道具を準備中☆ (▽) お楽しみに♪



異年齢のメンバーで練習中 (ダンス)